

# 日本の遊びを通じて交流

## 白里小児童が国際交流



▲福笑いを楽しむ留学生と児童たち

初めて会う外国人の方と言葉や風習の違いを越え、楽しく交流しようと12月9日、白里小学校で「校内授業研修会」世界の人々と交流しよう」が行われました。

その後、各班に分かれて自己紹介の後、こま回しやゴムとび、めんこやけん玉、輪投げなどの昔遊びをしたり、給食の手巻きずしを一緒に食べたりして交流を深めました。

留学生たちは、初めて経験する日本の遊びに少し戸惑いながらも、見よう見まねで遊びに参加。ノルウェーから留学しているイングリッドさんとステフィンさんは、「新しい経験でした。子どもたちはすごく元気。楽しかったです」とこやかに話してくれました。



▶見よう見まねであやとりをする留学生



▲町保健師による講義

## 認知症の人も暮らしやすい町に 増穂小で認知症サポーター講座

認知症について正しい知識を身に付け、理解を深めてもらおうと、増穂小学校の5年生とPTAを対象に、11月20日「認知症サポーター講座」が開催されました。

町保健師と、認定を受けた認知症サポーターが小学校を訪問。児童約50人とPTAを前に、認知症の症状や認知症の人への正しい接し方について説明しました。

講義は実例を交えながら、認知症の人がどんなことに困っているか、認知症の人にどう対応をとればよいかなどを具体的に説明。「どうすれば具体的な説明」...

## 町内で年末年始 特別警戒出動式

### 特別警戒出動式

年末年始に向けて、ひったくりや空き巣等の犯罪、飲酒運転に伴う交通事故等を未然に防止しようと12月10日、冬の交通安全運動にも絡めて、東金警察署管内の年末年始特別警戒出動式が町内で行われました。

この出動式は、東金警察署長を始め、県や町、関係機関、団体等の約130人が参加。飯田剛士東金警察署長は「車上狙いなどの刑法犯が増えている。本日から始まる年末年始特別警戒は1月3日まで行われるが、犯罪や交通事故の抑止のため、街頭パトロール等を強化してほしい」と参列者に協力を求めました。

また、堀内町長は「この時期は、いろいろな犯罪等が増えるので、安心安全のためにご尽力いただきたい」と呼びかけました。

式典最後には、管内のパト



## 笑顔あふれる 異世代交流

### 子ども会育成連絡協議会による子どもフェスタ



家族や地域住民との異世代交流を深め、子どもの健全育成と子ども会の活性化を図ろうと、子どもフェスタが12月12日に、農村環境改善センターいずみの里で行われました。

## 古き良き 文化を体験

### 大網東小でしめ縄作り



大網東小学校では、地域の作物を育て地域の文化を学ぼうと、5年生46人が12月10日の「総合的な学習・Eタイム」の時間に、正月飾りのしめ縄作りを体験しました。

この日の講師は、地域ボランティアとして日々、学校に協力をいただいている土屋光毅さん。子どもたちは、土屋さんから「わらをきれいに整えるのがポイントだよ」と、手ほどきを受けながら、2時間で2つずつ完成させました。

子どもたちは、完成したしめ縄を前に、「わらにも硬い部分があって、縛るのが難しかった」、「上手にできた」、「出来栄は70点から80点ぐらいかな」などと感想を話してくれました。

また、土屋さんは「子どもたちはしめ縄を作るのが初めてだから、なかなかうまくいかないみたい。でも、すごく良くできている子もたくさんいたね」と、その出来栄を評価してくれました。